

# 世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems

## クヌギ林とため池がつなぐ

# 国東半島・宇佐の農林水産循環



国東半島宇佐地域  
世界農業遺産  
Kunisaki Peninsula Usuki GIHS

しいたけ栽培のほだ木に利用するクヌギは、約15年のサイクルで伐採・萌芽・再生を繰り返し、クヌギ林が維持される。クヌギ林は雨水を蓄え、そこから有機物を含んだ湧水をいくつものため池に溜めて、農業に利用する。

豊かな自然・産業を育むクヌギ林

高品質な乾しいたけを生産

水田農業

しいたけ原木の供給 膨軟な土壌による保水  
安定した湧水の維持 地域景観の形成

### クヌギの循環システム

原木

落ち葉

膨軟な保水層を形成

保水層が雨水をかん養

有機物  
栄養塩

ほだ木

廃ほだ木

複数のため池を連携させた用水供給システム  
約1200のため池群

### 水の循環システム

灌漑用水として利用

農業用水の供給・治水  
地下水かん養と水質浄化  
水辺風景形成・生物多様性の維持



七島藪 (シチトウイ)

地域内には、15世紀からほとんどそのままの姿で現在に伝わる農村景観もある(左)。シチトウイは、い草より強健で耐久性に優れた畳表の材料で、現在は国東半島地域が国内唯一の産地(右)。

### ため池をつないだ用水供給システム



複数のため池をつないで農業用水を供給するシステムは、貴重な水を効率的に利用する雨の少ない半島ならではの知恵から生まれたもの。

「木の恵み  
しいたけの故郷  
木が食料を生む」

### 育まれる生物多様性・文化

特産のしいたけ



オオイダサンショウウオ



国指定重要無形民俗文化財  
「修正鬼会(しゅじょうおにえ)」



300年)

# 世界農業遺産認定後の効果・成果

※R4.3現在

## 次世代への継承

- ・小学校、中学校、高等学校で世界農業遺産に関する学習を実施（認定後延べ25,631人）
- ・小学校：世界農業遺産を題材とした**教材本（マンガ）**を使用した**授業**を実施
- ・中学校：農林水産業従事者を講師とした**出前授業**を実施
- ・高等学校：農業者等に聞き取りを行い記録を残す、「**聞き書き**」を実施



- ✓生まれ育った**地域への理解と誇り**が醸成されている。
- ✓聞き書きに参加した高校生が地元で就農を目指しているなど、**農業を担う次世代の育成**につながっている。



教材本（マンガ）



出前授業の様子



取材をする高校生

## 地域の元気づくり

### <交流人口拡大>

- ・ため池等を巡るウォーキングコースを26箇所整備 → **ウォーキングイベント参加者**:延べ 約21,400人
- ・田植体験等を通じた**地元小学生・大学生との交流**
- ・国内外からの**視察・研修を積極的に受入**



- ✓**地域おこしグループ等**の自主的な活動が年々活発化。
- ✓来訪者が増加、**地域内外の交流機会**が増加している。



田植え体験交流



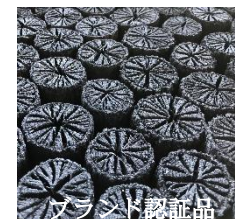
池干し・生き物観察会

### <ブランド化>

- ・世界農業遺産地域ブランド認証品を**4品目設定**（乾しいたけ、シチトウ加工品、**米、茶の湯炭**）
- ・シンボルマークを貼付した世界農業遺産**応援商品の拡大**（59企業・団体 269商品）



- ✓**地域製品の販売促進**され、**認知度も向上**



ブランド認証品  
「茶の湯炭」



各種応援商品